



ボランティアぼうしの会のみなさん

ボランティア ぼうしの会を紹介します。



みなさんは「ボランティアの会」の活動を存じておられましたか。今回、この会のみなさんのたゆみない奉仕活動の内容を代表の3人の方にお聞きしました。

現在、がん患者は子どもから大人まで2人にひとりと言われているように増えていきます。抗がん剤の投与等により頭髪が抜けてしまう患者さんに、病氣と闘いながら沈みがちな気持ちにならなくても明るくなれるようにと、ケア帽子を作製し届ける活動を続けています。2009年9月に発足し、14年間活動を続けられており、現在11人の会員で、「無理なく楽しみながら」をモットーに月に1回病院に届けています。帽子の大きさまや可愛らしさ、布地の要望にも応えて作っています。

「ありがとう」の一言や心のこもったお手紙を書いてくださる利用者の方も多く、また頑張ろうと思う瞬間だそうです。

「喜んでもらっている笑顔を思い出し、少しでも患者さんの気持ちに寄り添えれば」という思いと、利用者のみなさんの笑顔を大きな心の支えとして、これからも届けていきたい」とお話されています。

今後は次につながるべく、いくつかが大きな望みであるかと強調されています。

また、「タオル、手ぬぐい、ジャージ、浴衣の布地など100%綿で新品のものを提供いただければありがたい

です」とのお話も伺いました。NHKのニュースや新聞にも取り上げていただいたことでもあります。やらされ感はなくできる時にできる社会貢献を!! と優しく思いやりに溢れたみなさんでした。



会員のみなさんが作ったケア帽子



作製した帽子を針や糸がついていないか検品します

いちよう並木

親しみの花木

桜の紹介

桜は日本の文化と日本人の精神風土に合った名花木です。

原産地は北半球の温帯、暖帯に広く分布するバラ科サクラ属サクラ亜種属の高木低木。

特に美しい花が咲く分布先は日本・朝鮮・中国・台湾・ヒマラヤ地方等に多く生息。

冬咲きと一年中何処かで咲いているのが桜です。

桜と言えばソメイヨシノ。寿命は70年前後、松本城外堀片端の桜は見るも哀れな状況です。史跡地帯で植替えができません。文化庁の許可が下りないからです。史跡調査を進め、一日も早く桜並木を復元し以前の賑わいを取り戻したいです。

世界遺産登録を目指す松本市は旧博物館脇、松食い虫の被害木を含め景観対策を積極的に講じていただくことを望みます。

サクラ亜種属の野生種はヤマザクラ群・マメザクラ群・チヨウジザクラ群・ミヤマザクラ群・エドヒガン群・カンヒザクラ群の6種に分類され、野生種が10種、自然交配種が約20種、又、その変種も沢山あり、園芸種も約300種。春咲き・夏咲き・秋咲き。



山形県産 贈っていただいた啓翁桜